

『海外フィールド研修』におけるCOILの試み

国際交流センター 松岡知津子

国際理解実践：「海外フィールド研修」

- ・過去10年以上、「ベトナムフィールドスタディ」として実施
- ・2022年度より共通教育で全学部の学生を対象に実施
- ・後期集中講義。前半8回を三重大学で、後半8回分を現地で
- ・2～3月に10日程度、三重大学生がホーチミン市師範大学日本語学部（協定大学）を訪問、フィールド調査等の協働学習

国際理解実践：「海外フィールド研修」

- ・2019年度：COVID19により中止
- ・2020年度、2021年度：オンラインによる実施
- ・2022年：オンライン+現地訪問による交流
- ・2023年度：オンライン交流を強化し、より有意義な研修を

「海外フィールド研修」(2022年度)

活動内容

自己紹介

調査テーマについての意見交換

連絡先交換



「海外フィールド研修」(2023年度の予定)

COIL(1)・・・ゲーテ大学フランクフルト 日本語学科の学生 ×2回

非同期型

COIL(2)・・・ホーチミン市師範大学 日本語学部の学生 ×2回

同期型

「海外フィールド研修」(2023年度の予定)

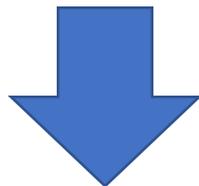
COIL(Ⅰ) 非同期型

「三重紹介」「ことわざ」等、ベトナムで紹介予定のコンテンツ作成



ゲーテ大学(ドイツ)にファイル形式で送信、ゲーテ大学で日本語を学ぶ学生によってコンテンツの評価×2回

分かりやすいか
伝わりやすいか 等



コンテンツを修正後、ベトナムで発表

「海外フィールド研修」(2023年度の予定)

COIL(2) 同期型(ZOOM)

1回目・・・自己紹介、フィールド調査についての意見交換、SNS交換
次回までの課題確認

2回目・・・フィールド調査の進捗を報告、現地で行う調査の確認